

旭川市教育研究大会(技術科)

10月10日(火)旭川市の小中学校の教職員は、市内各小中学校に分散し旭川市教育研究大会に参加してきました。本校も臨時休校としましたが、2年1組のみ登校し技術科の研究授業を行いました。たくさんの市内中学校の技術・家庭科の先生達が来校し、熱心に授業の様子を参観しました。

今回の研究授業は「カラスから野菜(トマト)を守るために最適なセンサを選択する」学習で、カラスの接近を感知するために適切なのは、「人感センサ」・「超音波センサ」のどちらなのかを、それぞれチームに分かれ、プログラミングやセンサ接続をしながら比較・検証を行っていくものでした。

授業後に行われた研究協議では、「生徒達が一生懸命プログラミングに取り組んでいた。」「深く考えて、発想力豊かな意見がいくつか出ていて感心した。」といった意見が出ていたそうです。2年1組の皆さんは、臨休の中で1クラスだけの登校でしたが、しっかりと授業に集中し興味・関心を持ちながら主体的に取り組む姿が立派でした。お疲れ様でした。

今回の授業の成果と課題をもとに、来年は本校技術科教員が本校生徒とともに全道の先生方を集めた研究大会で授業を行う予定です。

